

政策名	3夢のふくらむ港		責任者	企画調整室 環境担当課長	連携担当課 (建設部)工事課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	12快適な港湾空間を形成する				
事務事業名	12名古屋港跳上橋の保存・活用方法の検討		連絡先	052-654-7819	

1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港跳上橋の歴史資源としての保存・活用方法を作成します。	事業期間	平成21~24 [※] 年度 「その他特記事項」参照
概要	名古屋港景観基本計画において歴史資源として位置づけられている、名古屋港跳上橋の保存・活用について検討するものです。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度は、活用計画の検討を行いました。 ・23年度は、活用計画の検討、補修・補強方法の検討を予定しています。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	最終目標	24	備考(指標の算定方法など)
保存・活用方法作成 工程の進捗状況	単位	目標			2	4	4	(累計)6	以下の検討・作成手続きにおける実施工程数を合計します。 ①現況整理、②健全度調査の実施、③活用計画の作成、④補修・補強方法の検討、⑤補修・補強設計、⑥施工計画の作成
	工程	実績			2	3			
	単位	目標							
		実績							
事業費	千円			7,455	0	0			
人員	人			0.14	0.47	0.53			
嘱託職員	人			0.00	0.00	0.00			
人件費相当額	千円			1,201	3,986	4,647			
事業費・人件費の合計	千円			8,656	3,986	4,647			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	最終目標	24	備考(指標の算定方法など)	
保存・活用方法作成 工程の進捗率(累計)	単位	目標			33.0	67.0	67.0	(累計)100	保存・活用方法作成の手続きの実施工程数を把握することで事業の進捗度を見ます。進捗率は手続きの実施工程数÷予定工程数で算出します。	
	%	実績			33.0	42.0				
		達成率(%)			100.0	62.7				
	単位	目標								
		実績								
		達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ 無	・歴史資源として位置付けられている名古屋港跳上橋の保存・活用は、必要な事務事業です。 ・健全度調査の結果、補修の必要があります。							※予想以上に損傷が激しかったので、23年度に活用計画の作成、補修・補強方法について取りまとめ、24年度に事業実施設計等を作成することとしたため。
	目的・水準の妥当性	有・ 無								
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ 無	・健全度調査の結果、耐震性を満足しないことが判明しました。しかし、耐震補強をするには相当の費用を要するため、どこまでの補修方法を実施するのか検討が必要です。							
	成果の達成度	有・ 無								
効率性	内容の妥当性	有 ・無	・限られた財源の中で他事業との調整を行い、事業化に向けた検討が必要です。							
	実施主体の妥当性	有・ 無								
	受益者負担の適正性	有・ 無								
	経済性	有 ・無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	港らしさの創出に向けて、貴重な景観資源である跳上橋の保存・活用方法の検討を進めることが必要であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
過大投資とならないような保存・活用方法を検討していきます。			